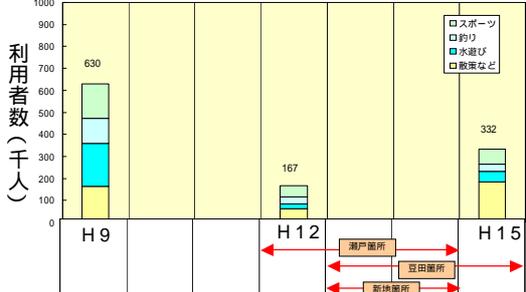
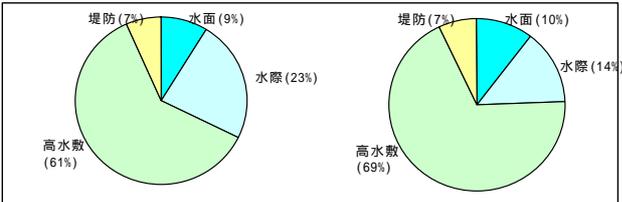


河川関係の評価項目調書

河川事業の再評価項目調書

事業名	よしいがわ 吉井川水系直轄総合水系環境整備事業		事業主体	中国地方整備局
所在地	吉井川直轄管理区間内			
事業概要	<p>事業の目的</p> <p>吉井川は岡山県東部に位置し、備前の「東の大川」と呼ばれていた。その源は中国山地の三国山(標高 1,252m)に発し、津山市を貫流しながら途中加茂川・吉野川・金剛川等を合流して、岡山市西大寺で児島湾の東端に注ぐ、流域面積 2,110km²、幹流流路延長 133km の河川である。</p> <p>吉井川は、その流域に歴史と文化を刻みながら、岡山県北部の中心都市津山市を始め、沿川地域の発達に大きな役割を果たして来た、母なる川である。人は川の持つ多様な機能を何らかの形で多面的に利用し、調和を図りながら、今日の社会を築いてきた。</p> <p>平成元年には、学識経験者や地元住民の代表によって「吉井川水系河川空間環境管理計画」が策定され、「ふるさと の あふれる自然 吉井川 わがまちの水辺をめざして」を基本理念とし、吉井川水系を都市近郊ブロック(テーマ: のびのびとしたふれあい空間) 田園ブロック(テーマ: ふるさとふれあい空間) 津山ブロック(テーマ: 歴史と文化のふれあい空間) 山あいブロック(テーマ: 豊かな自然のやすらぎ空間) ダム湖ブロック(テーマ: 森と湖のふれあい空間) の 5 ブロックに分けた管理方針により、流域住民に対して、うるおいのある空間を提供するため、利用実態を考慮し、沿川毎に親水整備を各テーマに沿って整備していくこととしている。</p> <p>本事業は、地域との合意形成を図りながら、現在の良好な自然環境を保持し、沿川のまちなみと一体となった良好な水辺環境を保全・創造するとともに、河川環境学習の拠点整備や生物の生息・生育環境の保全・再生に配慮した水辺の整備を行い、水辺空間の利用推進を図るものである。</p> <p>事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸箇所 [H12 ~ 14 年度] <ul style="list-style-type: none"> 階段護岸 500m、高水敷整正 15,000m² ・豆田箇所 [H13 ~ 15 年度] <ul style="list-style-type: none"> 親水護岸 280m、階段工 2 箇所、坂路工 1 箇所、カヌー発着場 2 箇所、高水敷整正 154,000m² ・新地箇所 [H13 ~ 14 年度] <ul style="list-style-type: none"> 低水護岸 350m、階段工(高) 2 箇所、階段工(低) 4 箇所、水制工 2 箇所、高水敷整正 5,100m²、坂路工 1 箇所 ・熊山箇所(くまやま水辺の楽校)[H16 ~ 17 年度] <ul style="list-style-type: none"> 坂路工 2 箇所、高水敷整正 8,500m²、緩傾斜法面 300m、散策路 600m、階段工 3 箇所 ・西大寺箇所 [H18 年度] <ul style="list-style-type: none"> 高水敷整正 8,000m²、散策路 1,500m、坂路 1 箇所、階段工 4 箇所 ・万富箇所(エコロジカルネットワークの形成) [H18 ~ 23 年度] <ul style="list-style-type: none"> 堤外水路整備 1,000m、産卵場整備 1 箇所 ・西大寺箇所 [計画中] <ul style="list-style-type: none"> 緩傾斜坂路、散策路等 ・田原箇所 [計画中] <ul style="list-style-type: none"> 親水護岸、高水敷整正 <p style="text-align: right;">[]は事業実施年度</p>			
事業着手年度	平成 12 年度 ~			
総事業費	1,372 百万円	既投資額	H18 年度末時点まで 852 百万円 (進捗率 62%)	
再評価の視点	<p>事業の必要性に関する視点</p> <p>ア) 事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>1) 地域の開発状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉井川下流域の岡山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、瀬戸町及び和気町の人口は、平成 18 年 6 月現在で合計約 829,400 人である。 ・ 近年下流域では岡山市のベッドタウン化が進行しているほか、北部の津山盆地でも市街地の拡大や工業団地などの開発が進んでいる。 ・ 沿川の緑豊かな自然環境を活用し、「吉井・ドイツの森」など岡山県東部の新たなリゾート地としても注目されている。 			

事業名	よしいがわ 吉井川水系直轄総合水系環境整備事業	事業主体	中国地方整備局																																						
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>2) 河川の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 河口付近から西大寺付近は市街地の貴重な水辺空間として、毎年「吉井川フェスタ」などイベントが開催されスポーツやレクリエーションの場として利用されている。 西大寺から上流部は、豊かな自然環境に恵まれ、散策や憩いの場、環境学習の場として利用されている。また、瀬戸町では「瀬戸内バルーンフェスティバル」が開催されており、地域の活動拠点となっている。 <p>3) 関連事業との整合</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿川の地自体では、河川の自然や空間を利用したまちづくり計画を策定している。 岡山市 緑の基本計画（H13年11月）、西大寺地域中心市街地活性化基本計画（H13年3月） 赤磐市 新市建設計画（H16年8月） 和気町 新町建設計画（H17年3月） <p>4) 自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の天然記念物である「アユモドキ」が生息する、吉井川の豊かな自然環境を保全する。 																																							
		<p>イ) 事業の投資効果</p> <p>1) 効果の変化</p> <p>利活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境整備事業箇所では、「吉井川フェスタ」や「瀬戸内バルーンフェスティバル」など、地域のイベントが活発に開催され、地域活性化に寄与している。 「くまやま水辺の楽校」などでは、小・中学校や地域活動により、環境学習や自然体験活動が定期的に行われるようになった。 河川水辺の国勢調査（空間利用実態調査）によれば、平成9年から平成12年にかけて利用者数が減少したが、その後環境整備事業を重点的に実施することで増加に転じている。平成15年では、概ね33万人の利用がみられる。 	<div data-bbox="375 1108 694 1164" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">利用場所別利用者割合</div>  <div data-bbox="391 1444 590 1500" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">年間利用者</div>  <p>平成15年における高水敷利用の増加は、瀬戸箇所、豆田箇所の環境整備の効果があると推測できる。</p> <table border="1" data-bbox="335 1769 1412 2038"> <caption>吉井川にかかわるイベント一覧</caption> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>整備箇所</th> <th>開催月</th> <th>場所</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉井川フェスタ</td> <td>新地箇所</td> <td>7月</td> <td>岡山市西大寺新 左岸</td> <td>吉井川フェスタ実行委員会</td> </tr> <tr> <td>金剛川 水辺の楽校 子どもの夏</td> <td>-</td> <td>7月</td> <td>和気町 こんごう水辺の楽校</td> <td>金剛川水辺の楽校推進協議会</td> </tr> <tr> <td>吉井川カヌーマラソン</td> <td>瀬戸箇所</td> <td>6月</td> <td>坂根堰上流 右岸</td> <td>岡山カヌークラブ事務局</td> </tr> <tr> <td>B&G吉井川クリーンフェスティバル カヌー教室</td> <td>瀬戸箇所</td> <td>7月</td> <td>坂根堰上流 右岸</td> <td>子供の居場所づくり実行委員会</td> </tr> <tr> <td>岡山市クロスカントリー大会</td> <td>西大寺箇所</td> <td>1月</td> <td>雄川橋下流 左岸</td> <td>岡山市教育委員会</td> </tr> <tr> <td>瀬戸内バルーンフェスティバル</td> <td>豆田箇所</td> <td>11月</td> <td>瀬戸内市邑久町豆田 左岸</td> <td>瀬戸内バルーンフェスティバル実行委員会</td> </tr> <tr> <td>ウェイクボード競技大会</td> <td>西大寺箇所</td> <td>8月</td> <td>雄川橋下流 左岸</td> <td>吉井川ウェイクボード競技団体</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	整備箇所	開催月	場所	主催	吉井川フェスタ	新地箇所	7月	岡山市西大寺新 左岸	吉井川フェスタ実行委員会	金剛川 水辺の楽校 子どもの夏	-	7月	和気町 こんごう水辺の楽校	金剛川水辺の楽校推進協議会	吉井川カヌーマラソン	瀬戸箇所	6月	坂根堰上流 右岸	岡山カヌークラブ事務局	B&G吉井川クリーンフェスティバル カヌー教室	瀬戸箇所	7月	坂根堰上流 右岸	子供の居場所づくり実行委員会	岡山市クロスカントリー大会	西大寺箇所	1月	雄川橋下流 左岸	岡山市教育委員会	瀬戸内バルーンフェスティバル	豆田箇所	11月	瀬戸内市邑久町豆田 左岸	瀬戸内バルーンフェスティバル実行委員会	ウェイクボード競技大会	西大寺箇所	8月
イベント名	整備箇所	開催月	場所	主催																																					
吉井川フェスタ	新地箇所	7月	岡山市西大寺新 左岸	吉井川フェスタ実行委員会																																					
金剛川 水辺の楽校 子どもの夏	-	7月	和気町 こんごう水辺の楽校	金剛川水辺の楽校推進協議会																																					
吉井川カヌーマラソン	瀬戸箇所	6月	坂根堰上流 右岸	岡山カヌークラブ事務局																																					
B&G吉井川クリーンフェスティバル カヌー教室	瀬戸箇所	7月	坂根堰上流 右岸	子供の居場所づくり実行委員会																																					
岡山市クロスカントリー大会	西大寺箇所	1月	雄川橋下流 左岸	岡山市教育委員会																																					
瀬戸内バルーンフェスティバル	豆田箇所	11月	瀬戸内市邑久町豆田 左岸	瀬戸内バルーンフェスティバル実行委員会																																					
ウェイクボード競技大会	西大寺箇所	8月	雄川橋下流 左岸	吉井川ウェイクボード競技団体																																					

事業名		よしいがわ 吉井川水系直轄総合水系環境整備事業	事業主体	中国地方整備局										
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>地域住民の評価 「川の通信簿（ 1）」では、瀬戸箇所（弓削河川公園）和気箇所（吉井川ふれあいパーク、金剛川水辺の楽校）において四ツ星（ ）新地箇所（吉井川左岸河川敷公園）熊山箇所（熊山橋付近広場）において三ツ星（ ）の評価が得られている。</p> <p>（ 1）川の通信簿：河川空間の現状を、市民団体との協働作業で、「自然の豊かさ」、「水辺のはいりやすさ」など16項目で点検し、5段階で満足度を評価するもの。</p> <p>2）費用対効果の分析（試行） ・ CVM（仮想市場法）による費用便益は、1.43で十分な投資効果がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">本事業に関する費用（総費用）</th> <th style="width: 50%;">本事業の効果（総便益）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 建設費 総事業費（ 1） = 1,372 百万円 現在価値事業費（ 2） = 1,314 百万円 維持管理費（ 3） = 168 百万円 総費用（C） + = 1,482 百万円 1：完成から計画中の全箇所に必要な費用 2：将来または過去の費用を現在の価値に換算（社会的割引率4%考慮） 3：維持管理費として累積事業費の0.5%を計上 </td> <td> 便益算定原単位 支払意思額（ 4） = 326 円/世帯/月 受益世帯数（ 5） = 22,758 世帯 便益 年便益額 = 89.0 百万円 （326 円/世帯/月 × 22,758 世帯 × 12 ヶ月） 年便益総和（ 6） = 2,075 百万円 残存価値（ 7） = 38 百万円 総便益費（B） + = 2,113 百万円 4：CVMアンケートによりノンパラメトリック法にて算定 5：アンケート結果より直轄区間沿川2km内世帯数を計上 6：年便益費を評価期間で累計（社会的割引率4%考慮） 7：評価対象期間末地点で当事業に残っている価値 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">評価対象期間内 = 整備期間 + 50年</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">費用対効果分析の結果 B/C = 1.43</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配布数 1,500 有効回答数 374（回収率24.9%） 326 円/世帯・月 中央値</td> </tr> </tbody> </table>			本事業に関する費用（総費用）	本事業の効果（総便益）	建設費 総事業費（ 1） = 1,372 百万円 現在価値事業費（ 2） = 1,314 百万円 維持管理費（ 3） = 168 百万円 総費用（C） + = 1,482 百万円 1：完成から計画中の全箇所に必要な費用 2：将来または過去の費用を現在の価値に換算（社会的割引率4%考慮） 3：維持管理費として累積事業費の0.5%を計上	便益算定原単位 支払意思額（ 4） = 326 円/世帯/月 受益世帯数（ 5） = 22,758 世帯 便益 年便益額 = 89.0 百万円 （326 円/世帯/月 × 22,758 世帯 × 12 ヶ月） 年便益総和（ 6） = 2,075 百万円 残存価値（ 7） = 38 百万円 総便益費（B） + = 2,113 百万円 4：CVMアンケートによりノンパラメトリック法にて算定 5：アンケート結果より直轄区間沿川2km内世帯数を計上 6：年便益費を評価期間で累計（社会的割引率4%考慮） 7：評価対象期間末地点で当事業に残っている価値	評価対象期間内 = 整備期間 + 50年		費用対効果分析の結果 B/C = 1.43		配布数 1,500 有効回答数 374（回収率24.9%） 326 円/世帯・月 中央値	
	本事業に関する費用（総費用）	本事業の効果（総便益）												
建設費 総事業費（ 1） = 1,372 百万円 現在価値事業費（ 2） = 1,314 百万円 維持管理費（ 3） = 168 百万円 総費用（C） + = 1,482 百万円 1：完成から計画中の全箇所に必要な費用 2：将来または過去の費用を現在の価値に換算（社会的割引率4%考慮） 3：維持管理費として累積事業費の0.5%を計上	便益算定原単位 支払意思額（ 4） = 326 円/世帯/月 受益世帯数（ 5） = 22,758 世帯 便益 年便益額 = 89.0 百万円 （326 円/世帯/月 × 22,758 世帯 × 12 ヶ月） 年便益総和（ 6） = 2,075 百万円 残存価値（ 7） = 38 百万円 総便益費（B） + = 2,113 百万円 4：CVMアンケートによりノンパラメトリック法にて算定 5：アンケート結果より直轄区間沿川2km内世帯数を計上 6：年便益費を評価期間で累計（社会的割引率4%考慮） 7：評価対象期間末地点で当事業に残っている価値													
評価対象期間内 = 整備期間 + 50年														
費用対効果分析の結果 B/C = 1.43														
配布数 1,500 有効回答数 374（回収率24.9%） 326 円/世帯・月 中央値														
事業進捗の見込み	コスト縮減や代替可能性	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の環境整備箇所では、新たな利用の創出や地域イベントの活発な利用など、地域の活性化に繋がった。 水辺の楽校は地域の社会教育施設として、環境学習や自然体験の場として定着している。 天然記念物に指定されているアユモドキを保全するためにエコロジカルネットワークを形成し、豊かな自然環境を保全する必要がある。 												
	今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域の河川利用に資する水辺環境整備に対する要望は強く、地域計画や地域からの意見を取り入れながら、協力体制を確立し、事業を実施していく。 河川空間の地域からの要望は強く、代替案は考えられない。 整備箇所の除草作業や清掃などの日常管理は、地元の協力を得て実施している。 河川内の遊歩道の舗装を自然景観に配慮するとともにコスト縮減が図れる「現地発生土を利用した舗装」で施工するなど、建設副産物の抑制と有効活用を推進する。 <p>以上観点から吉井川の環境整備事業は、継続が妥当。 今後、施設整備や維持管理に要する費用について更なるコスト縮減に努力しつつ、地域との連携を深め、効率的で効果的な事業を継続する。</p>												